学校番号	1101

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	コンピュータ応用1	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的には実習重視で進めていく。教師からの全体への説明や課題提示などは副読本やプリント資料配布などで行い、生徒には各自、自分の理解度に応じてノートへの書き込みやパソコンでの課題作成など行うように指導する。各生徒が自分にあったペースで学習できるような課題内容を工夫する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	コンピューター知識	1. 入力装置の種類と特徴 2. 出力装置の種類と特徴 3. 記憶装置の種類と特徴 4. デジタルデータの処理概念 5. デジタル化の利点や問題点 6. コンピューターを利用したデータの管理や分析 7. 利用者サービスの種類	a:入力装置の種類と特徴を説明できる a:出力装置の種類と特徴を説明できる a:記憶装置の種類と特徴を説明できる a:デジタルデータの処理概念を説明できる a:デジタル化の利点や問題点を説明できる b:コンピューターを利用したデータの管理や分析ができる c:利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる	定期考査	定期考査	ワークシート
	情報通信ネットワーク	1. 情報通信システムの基本的な仕組み 2. ホームページの仕組み 3. 電子メールの機能 4. ネットワーク資源 5. ログオン/ログオフ	a:情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる b:ホームページの仕組みを理解した上で活用できる b:電子メールの機能を理解した上で活用できる b:ネットワーク資源の基本的な活用ができる a:ログオン/ログオフの意味について説明できる	定期考査	レポート	
	ワープロソフトの活用	1.ワードアート・画像の挿入 2.表の挿入・編集 3.ページ設定・印刷 4.段落 5.インデント・タブ 6.テキストボックス 7.オートフォーマット・拡張書式	a:ワードアート・画像の挿入ができる a:表の挿入・編集ができる a:ページ設定・印刷ができる a:段落の設定ができる a:インデント・タブの設定ができる a:テキストボックスを挿入できる a:オートフォーマット・拡張書式ができる	実技テスト		

	プレゼンテーションソフトの活用	テーマの設定 タイトルとテキストの入力 新しいスライドの挿入 プレースホルダの編集 画像挿入、ワードアート スライドショーの実行 図形 アニメーション 画面切り替え効果 表の挿入 配布資料の印刷	b:プレゼンテーションソフトを利用して課題の発表をすることができる		レポート	
後期	情報モラルと情報セキュリティ	1. 情報モラル 2. 個人情報保護 3. 情報セキュリティ 4. コンピューターウイルス 5. 知的財産権や肖像権	c:情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる c:個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる c:情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる b:コンピューターウイルスに対する基本的な対処ができる c:知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる		定期考査、レポート	レポート、観察
	ICTを活用した問題解決	1. 意思決定する問題 2. システムを設計する問題 3. 不測の事態に対応する問題	c:意思決定することができる a:システムを設計することができる c:不測の事態に対応することができる	定期考査		レポート
	表計算ソフトの活用	1.罫線の設定 2.オートフィル 3.セル、行列の設定 4.ワークシート 5.グラフ 6.ページ・印刷設定 7.SUM,MAX,MIN,AVERAGE,COUNT 8.作業グループ・3D 集計、範囲名 9.データ処理、入力規則	a:罫線の設定ができる a:オートフィルが設定できる a:セル、行列の設定ができる a:ワークシートの設定ができる a:グラフの作成ができる a:ページ・印刷設定ができる a:SUM, MAX, MIN, AVERAGE, COUNT の設定ができる a:作業グループ・３D 集計、範囲名の設定ができる a:データ処理、入力規則ができる	実技テスト		

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度